明治大学国際武器移転史研究所（RIHGAT）主催

公開シンポジウム



戦争に近づく日本

―「安保三文書」改定・総力戦・平和主義を問う―

日時 2026年 12月10日（木）
16:00 開始（15:30 開場）

会場 明治大学駿河台キャンパス
グローバル・フロント 1F グローバル・ホール

事前登録 会場参加の場合 不要

入場料 無料

プログラム

15:30 - 16:00	開場
16:00 - 16:05	主催者挨拶　佐原 徹哉（RIHGAT 所長、明治大学教授）
16:05 - 16:35	第1報告 纐纈 厚　山口大学名誉教授 [「安保三文書」改定と日米同盟及び日中関係]
16:35 - 17:05	第2報告 山田 朗　明治大学文学部教授 [総力戦体制再構築に向かう日本－歴史と現段階]
17:05 - 17:35	第3報告 小野塚 知二　東京大学特任教授 [平和の民衆的基盤―2026年の「戦争と平和と経済」―]
17:45 - 18:05	討論　登壇者による討論
18:05 - 18:35	質疑応答

趣旨

政府は、本年４月に「防衛装備移転三原則」及び「運用指針」を改定し、殺傷兵器の移転自由化へと踏み出し、年内に新たな「安保三文書」を策定しようとしています。これは、ロシアのウクライナ侵攻以来喧伝されるようになった「新しい戦い方」や、大国による「力の支配」への逆戻りに呼応して、「抑止力」の名の下に一挙に軍拡を進める危険なプログラムになるのではないかと危惧せざるをえません。平和主義を土台に武器移転史を解明する当研究所として、日本の軍拡の歴史と現状に一石を投じてみたいと思います。

登壇者



纐纈 厚
山口大学名誉教授・
RIHGAT 客員研究員



山田 朗
明治大学文学部教授



小野塚知二
東京大学特任教授



司会　白戸伸一
明治大学 名誉教授
RIHGAT 客員研究員

お問い合わせ
明治大学国際武器移転史研究所（RIHGAT）事務局
E-mail: rihgat@meiji.ac.jp　HP: https://www.isc.meiji.ac.jp/~transfer

オンライン参加は、HP記載のフォーム（11月1日以降『NEWS一覧』参照）よりお申込みください。